

# 平成 26 年度事業報告書

平成26年 4月 1日から 平成27年 3月 31日まで

特定非営利活動法人キドックス

## 1 事業実施の方針

- 成果指標を設定し、プログラムの質を高めることに重点を置く。  
→若者就労支援を行う他団体視察の資料を参考に、若者には毎月の「自己評価」「他者評価」を導入し成長を可視化することに取り組んだ。また、毎月の支援目標や方針をスタッフで共有する体制を整えた。  
→犬については、ドッグトレーナー会議を開き、「トレーニング進捗シート」「定期テスト」を再度見直してリニューアルをした。また、トレーニング教科書の土台を作成した。
- 毎月成果と会計の情報を開示しながら、運営状況をわかりやすく公開する。  
→毎月の活動に関わる実数と会計報告を作成し、欠かさずHPで情報公開を行った。
- 当法人の活動に共感していただける方を増やす。  
→共感していただいた方が活動へ参加できるような仕組みを作るべく、月額寄付制度の「ファミリー会員」を新たに導入した。2015年3月末時点で会員数は8名。

## 2 事業の成果

主に、以下の事業を実施した。

- 引きこもり・不登校の若者向けの自立支援事業「いぬのいえ」の実施
- 犬の家庭犬トレーニングや各種ケア、保護犬譲渡促進事業
- 講演活動、啓発活動、メディア取材対応など

■ 2014年度の利用者数・犬頭数

■ 2013年5月1日～2015年4月31日  
までの2年間の集計

### 2014年度(2014.4.1～2015.3.31)現状成果

総利用者実数 (※単発利用/単発相談/親族利用者含む)	46名
定期利用者実数 (※単発利用/単発相談/親族利用者まない)	8名
延利用者数 (※定期利用者のみ)	461名
進路決定者数	0名
進路決定率	0%
総トレーニング犬	9頭
総譲渡犬	4頭

開始時(2013/5/1)から現在まで (※一般向けプログラムのみ集計)		
人	総利用者数	49
	定期利用者数	10
	延利用者数	667
	進路決定者数	3
	進路決定率(%)	30
犬	総トレーニング数	12
	総譲渡数	8

※年度別集計のため、プログラム成果にタイムラグが生じるため（例えばプログラム参加した翌年に就労決定等）過去の年度も含めた集計を掲載しています。

■ 2014年度の事業別の活動実施回数・利用者数

事業名	活動カテゴリ	実施回数(回)	利用者合計(人)
若者たちの自立支援・職業訓練事業/捨て犬の保護や譲渡を促進する事業/捨て犬の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	自立支援いぬのいえ	192	45
	フリースクール	50	1
	わんこみゆカフェ	29	不特定多数
	わんこみゆイベント	4	41
	セラピードッグ訪問	5	250
	ひきこもり相談員	5	20
	犬の譲渡会	1	不特定多数
	適応指導教室訪問	2	8
捨て犬の保護や譲渡を促進する事業	飼い主啓発活動	1	20
子ども達への道德教育・動物愛護教育・自立支援教育事業	動物介在活動	5	160
若者自立支援ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業/若者自立支援ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	講演会	1	28
	取材・見学対応	9 (※取材のみ)	81 (※取材・見学合計)
	啓発イベント	3	250

### 3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額(単位:千円)
捨て犬の保護や譲渡を促進する事業	保護犬に家庭犬トレーニングを行い、里親家庭を見つかりやすくする。また、譲渡会を企画運営した。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)犬をこれから飼いたい全ての世帯 (E)不特定多数	528
捨て犬の保護やケア活動を行う他団体のサポート事業	犬を保護している動物愛護団体と協力し、その団体の保護犬に家庭犬トレーニングを行うとともに、譲渡会を実施した。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)犬を保護している愛護団体の方々 (E)2団体	10

若者たちの自立支援・職業訓練事業	保護犬の世話やトレーニングを通じて、ひきこもりや不登校の若者へ自立サポートを行った。活動の中で適宜職業訓練の教育も行った。また、若者のコミュニケーション訓練の一環として、老人ホームへのセラピードッグ訪問活動も行った。	(A)週4回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)ひきこもりや不登校の若者15歳～39歳 (E)別表に記載	1000
子ども達への道徳教育・動物愛護教育・自立支援教育事業	学童期～高校生の子供達が、犬を通じて命の大切さを学べる教育プログラムを実施した	(A)年5回 (B)各教育機関やキドックスファーム (C)4人	(D)学童期～高校生の子供もたち (E)約160人	100
若者自立支援ドッグプログラムの企画・運営・コンサルティング事業	ドッグプログラムを行いたい・興味があるという方へのコンサルティングや見学受け入れ	(A)月2～4回 (B)キドックスファーム (C)1人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)81人	10
若者自立支援ドッグプログラム広域的普及のための啓発活動及び講演事業	ドッグプログラムの具体的内容や成果・実績についての講演会の実施、新聞・ラジオ・テレビ等メディアからの取材の受け入れ	(A)年10回 (B)キドックスファーム (C)4人	(D)活動に興味がある全ての人 (E)不特定多数(視聴者等含め)	10

(2) その他の事業  
実施せず

以上